

平成31年（令和元）度小磯記念美術館事業点検評価の外部評価

【総括】

令和2年度の小磯記念美術館協議会で実施した平成31年（令和元）度の小磯記念美術館事業点検評価において、6つの事業項目のうち、A評価は3つ（資料、調査研究、普及）、B評価は3つ（報告、連携、運営）となった。

自己点検評価でも「資料」「調査研究」「普及」がA評価、残り3つがB評価となっており、外部評価と同様の結果であった。

※評価はS・A・B・C・Dの5評価

【外部評価委員からの総評】

少人数で多彩な事業を実施しており、時間と労力を使って大変努力している。今後も引き続き努力を積み重ねていてもらいたい。

令和元年度は工事のため休館から始まり、再開後の入館者数は好調に推移してきていたが、終盤になって新型コロナウイルス感染症の影響により、拡大防止対策を徹底したうえでの開館に努めたが、来館者の自粛に加え美術館でのイベント活動なども自粛することとなり、結果的には来館者数が伸びなかったことは残念である。厳しい環境下ではあるが、悲観的にとらえるのではなく、個人記念美術館の役割、地域への貢献など、これからのあり方を考えてもらいたい。

小磯記念美術館外部評価集計表【平成31（令和元）年度】

美術館の事業方針	事業項目	点検評価項目 (小項目)		(判定概要)	外部評価	
					事業項目評価	
神戸市小磯記念美術館 条例第3条	資料	収集	受け入れ		A	
		保管	保存			
		展示	資料 補修			
	調査研究	研究発表	常設展	調査研究		A
			特別展【神戸の暮らしを“デザイン”する】			
			特別展【黄昏の絵画たち】			
	報告	頒布・広報・報告	出版	出版物		B
			SNS等	情報発信		
			広報			
	普及	講演・ワークショップ	講演など	講演など		A
			普及活動			
	連携	画像利用・貸出	館外貸出	館外貸出		B
特別利用						
学校園		学校	学校			
		連携	連携			
地域	子供向け	子供向け				
地域	地域	地域				
美術館の経営方針	運営項目	点検評価項目 (小項目)		(判定概要)	外部評価	
館の運営に関する管理 事項	運営	統計・整理	入館者数		B	
			セット券			
			コンサート			
		収支状況	収支(特別展)			
			収支(物販)			
		施設の運営管理	設備			
警備、清掃						
案内						
	危機					